

## 日本マレー世界研究会(JA'AM)のご案内と活動報告

西尾寛治・西芳実

JAMS の連携研究会である日本マレー世界研究会(JA'AM)の活動も6年目に突入し、報告いただいた方も、のべ42名を数えました。報告者及び参加者の皆様に対し、厚く御礼申し上げます。JA'AM は今後も東京大学駒場キャンパスを拠点として研究会活動を展開していく予定であります。なお一層のご支援の程、何卒よろしくお願い申し上げます。

さて、本年度の活動を報告します。6月20日開催した本年度最初の研究会では、今年のマレーシア総選挙というホットなテーマを取り上げ、鷲田任邦さんに国民戦線体制の集票戦略という観点からご報告いただきました。関東はもとより関西からの参加もあり、またウイークデイにもかかわらず官公庁やNPOのメンバーも出席される盛会となりました。

報告では、比較政治学の分析枠組みに基づいて州ごとの開発予算の配分と選挙結果の関連性が分析され、「財政配分が国民戦線の集票に機能しているか」が検討されました。討論では、「集票戦略の一環として財政配分を検討する際、州ごとの開発予算を見ることの妥当性」や「比較政治の分析枠組みにあてはまらない結果をどう解釈するか」が焦点となりました。なお、後者ではマレーシアを特殊事例と位置づけるか、それとも分析枠組みが適切でないとするかが論点となりました。

これまで案内してきましたように、JA'AM は多様な人々と協同して新たなマレーシア・インドネシア像を追究することを志向しています。それゆえ、参加に際して資格などの制限はなく、問題関心を共有するすべての人々が対等に論議できる

場を提供することをめざしています。また、そうした趣旨から、連携研究機関であるJAMSの会員はもとより、広くマレー世界を研究対象とする人々に対し、報告を常時呼びかけております。報告を希望される方は世話人までぜひご一報ください。なお、今年度の活動は以下の通りです。

### ・研究会会場および日時

東京大学駒場キャンパス18号館。原則として金曜日の午後6時過ぎから。

### ・今年度開催した研究会

2008年6月20日

報告者:鷲田任邦(東大大学院総合文化研究科国際社会科学専攻・博士課程)

タイトル:「長期政権と財政配分の政治学:マレーシア国民戦線体制の脆弱性と集票戦略」

概要:マレーシアの財政資源の配分をめぐる既存研究では、賞罰の側面のみが強調されてきたが、賞罰のみでは長期政権は説明できない。本報告では、与党国民戦線が選挙競争における「脆弱性」に対処し、長期政権を維持するために票を掘り起こすメカニズムを、体系的な計量分析を踏まえて明らかにする。本報告は、基本的には2006年比較政治学会での報告を加筆・修正したものであるが、2008年総選挙での「大敗」に関する考察も行う。